

道路事業の再評価概要書

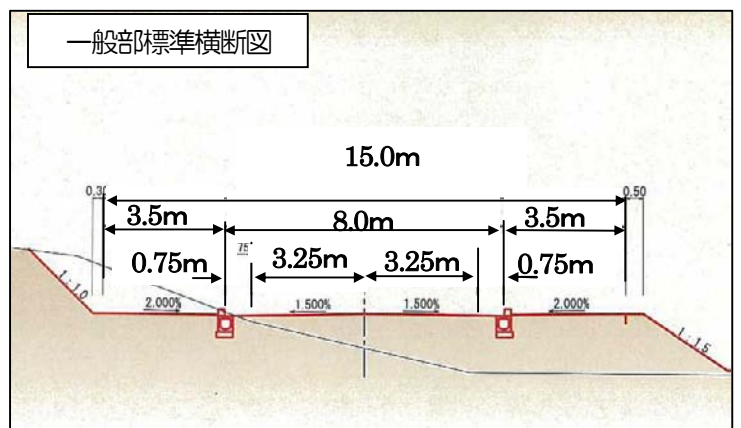
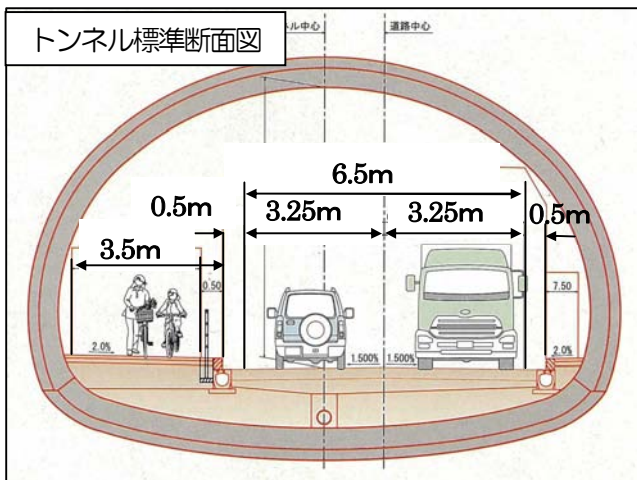
| 道 路 事 業 の 再 評 価 概 要 書 | | 番 号 | 1 2 1 |
|--|--|------------------|------------------------------------|
| | | 事業主体 | 栃 木 県 |
| 事業名 | 快適な道づくり事業 | 事業所管課 | 県土整備部 道路整備課 |
| 路線・河川名 | 主要地方道 <small>うつのみやなすからすやま</small> 宇都宮那須烏山線 | 事業箇所名 | <small>なすからすやましたかせ</small> 那須烏山市高瀬 |
| 事業区間 | <small>なすからすやましたかせ かなが</small> 那須烏山市高瀬～神長 | 事業延長 | 1, 860m |
| H14年度事業化 | — | H14年度用地着手 | H17年度工事着手 |
| 事業期間 | H14年度～H24年度 | 事業進捗状況 | 基準年次：【平成23年度末時点】 進捗率 |
| [うち用地補償費] 全体事業費 | [7.6億円] 49.3億円 | | [うち用地補償費] 既投資事業費 |
| 事業概要 | | | |
| <p>主要地方道宇都宮那須烏山線は、宇都宮市を起点に、高根沢町を經由して県東部に位置する那珂川沿川地域の中心都市である那須烏山市を連絡する幹線道路である。</p> <p>しかしながら、高瀬地内の割山峠付近の現道は、急勾配・急カーブが連続し、かつ狭隘なことから、交通の隘路となっている。そのため、大型車両のすれ違い時の接触事故等が多発し、更に、歩道も無いことから通学自転車等の通行も危険にさらされている。</p> <p>このため、安全、安心で円滑な交通を確保するとともに、観光地の活性化支援、地域間の交流の促進を目的にトンネルを含むバイパス整備を行うものである。</p> | | | |
| 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | | | |
| 特に無し | | | |
| 事業の投資効果 | | | |
| 1 費用対効果分析結果 | | 【総便益 (B)】 | 【総費用 (C)】 |
| (1) 事業全体 | | B/C= 1.9 98.2億円 | 52.5億円 |
| (2) 残事業 | | B/C= 18.2 54.6億円 | 3.0億円 |
| 2 事業の整備効果等 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・隘路の解消による走行性の向上、歩道等の整備による歩行者等の安全の確保、 ・緊急輸送道路の整備による周辺地域の防災性の向上 ・道路の整備による宇都宮市・那須烏山市間のアクセスの向上及び旧烏山町・旧南那須町間の交流の促進 | | | |
| 事業の進捗状況等 | | | |
| 1 事業の進捗状況 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・現道線形改良部を部分供用した (H18年度：終点烏山側、H19・20年度：起点宇都宮側、計L=0.9km) した。 ・現在、トンネル本体工事を推進している。 | | | |
| 2 今後の事業進捗の見込み | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度内にはトンネル本体工事を完成させ、供用に向けてトンネルの舗装工事及び設備工事を推進する。 ・平成25年春に供用を図る。 | | | |
| コスト縮減等 | | | |
| 1 コスト縮減方策 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用しコストを低減 | | | |
| 2 代替案立案等の可能性 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・全ての用地取得が完了、トンネル工事及びアプローチ工事も概成していることから、代替案立案は困難である。 | | | |
| 事業の対応方針 (案) | | 現計画で事業を継続する。 | |

事業箇所（位置図・概要図）

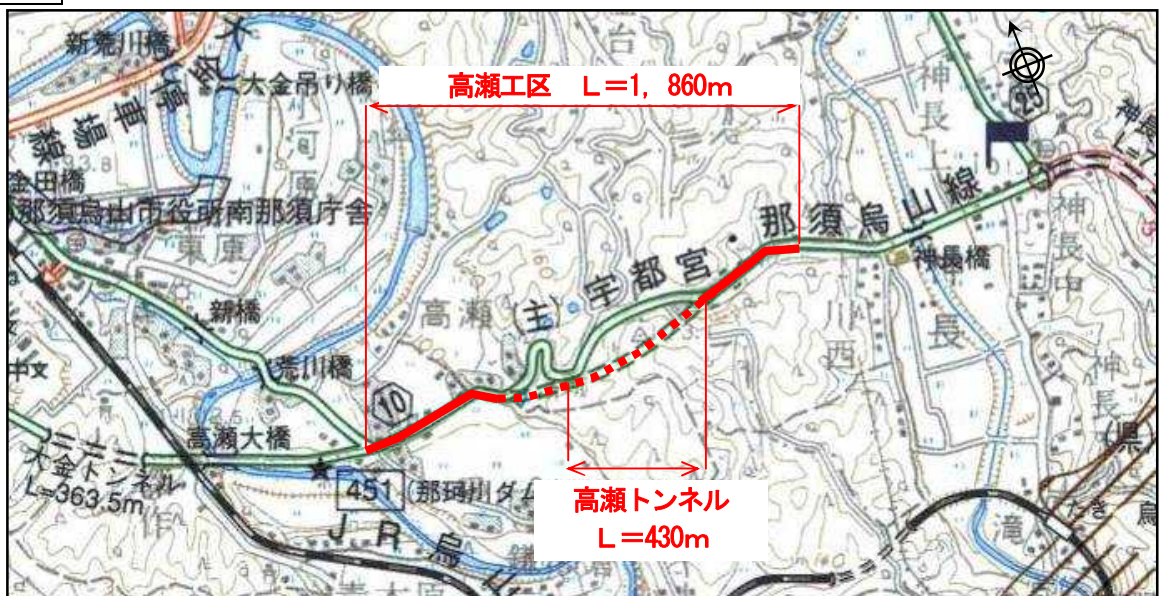
位置図



標準横断面図



概要図



—— 供用済
- - - - 未供用



写真1：大型車両とのすれ違い



写真2：通学自転車等の通行